

平成22年度 地域活性化事業交付金 交付決定事業実績 【清新地区】

平成23年3月31日現在

| 団体名 | 事業等の名称 | 事業の実績の概要 | | | | 交付決定 年月日 | 交付金額 (単位:円) |
|---------------|--------------------|---|---|--|---|-------------|----------------|
| | | 事業の目的 | 事業の実績 | 事業の成果 | 事業実施団体による自己評価 | | |
| 清新自主地区防災協議会 | 清新地区災害対策基地の整備 | 清新地区災害対策基地(公民館)を地域災害センターとして位置付け、3箇所の避難所と当該基地間の緊急連絡用に簡易無線機を導入し、各避難所間での迅速な情報の共有化及び緊急指示体制の確立を図る。 | 清新公民館に基地局として据え置き型簡易無線機を、清新小、小山小、清新中の各学校避難所に携帯型簡易無線機をそれぞれ整備した。 平成22年度市総合防災訓練清新地区地域会場訓練において、情報連絡訓練を実施し、デモンストレーションを行った。 | ①災害時緊急連絡体制の確保が図れたこと。 ②災害対策基地、各避難所間の円滑な連携が可能になったこと。 ③地区防災活動への賛同者が増えることによる担い手育成が期待できること。 | 災害時の拠点となる公民館と3つの学校避難所は距離が離れているため、災害時の緊急連絡体制の構築が急務となっていた。簡易無線機の整備により公民館に設置される災害対策基地と学校避難所間で緊急連絡体制を構築することができた。今後、さらなる地区の防災力の向上に向け、環境整備に努めていく。 | H22.7.1 | 157,000 |
| 自治会法人すみれ自治会 | 自治会内コミュニケーション活性化事業 | 自治会の課題等を把握すると共に、それを広く公開して課題を共有化し、開かれた自治会運営を通じて新たな事業展開に向けた報告書を作成し、これを基に、魅力ある自治会活動の展開、良好なコミュニケーションを形成し、賑わいのある自治会活動の推進を図る。 | すみれ自治会において、区域内住民の地域特性、自治会に対するニーズを明らかにするため、区域内住民を対象に、「地域住民の自治会活動に対する満足度(CS)等調査」を実施した。集計結果の分析を受け、より住民が参加しやすい開かれた自治会のあり方や事業の実施方法等の検討を行った。 | 若い人の参加、将来のビジョンづくり、地域清掃、高齢者等への福祉サービス、防災・防犯活動の充実、総会の出席率向上、ブロックの合併、役員の負担軽減のための行事見直し、市・警察等公的機関への積極的な要望、個性を生かした自治会活動、町民運動会・ふるさとまつりの開催方法の見直しなどの意見が多かった。 自治会内の定期的な回覧、役員会、ブロック会、ホームページなど活用して自治会活動をアピールすることが必要との認識を得る。 | 今回の「地域住民の自治会活動に対する満足度(CS)等調査」の集計及び分析結果を把握し、すみれ自治会の置かれている現状を認識した上で、改善対策を検討する中で、自治会活動や地域の活性化を図っていきたい。 | H22.8.2 | 346,000 |
| 自治会法人すみれ自治会 | 土曜のタベによる地域活性化事業 | 形骸化した「土曜のタベ」の事業を見直すことにより、自治会内コミュニケーションの活性化を図るとともに、地域全体の活性化につなげる。 | 「土曜のタベ」における住民相互のコミュニケーションツールとして活用しているカラオケ装置を更新し、併せて住民がより参加しやすい内容への見直しを図る。 ポスター・チラシ・回覧にて「土曜のタベ」のリニューアルをPRし、自治会集会所にて会員、地域住民を対象にリニューアルした「土曜のタベ」の説明会を行う。 | 単なる装置の購入に留まらず、曲目の選定や業者との調整、啓発用ポスターの制作まで全ての工程で地域住民とともに事業として実施したため、自治会員相互のコミュニケーションや「土曜のタベ」事業の普及啓発、自治会活動の魅力発信が図られ、地域の活性化を図ることができた。 | 当自治会区域内では、近年、高齢化の進展、共働き世帯や単身世帯の増加等のため、自治会活動参加者の減少、自治会加入世帯の減少が懸案事項になってきた。このたび、地域活性化事業交付金を活用し、「土曜のタベ」におけるカラオケ装置の更新を企画実施したが、更新作業を通して地域住民の結束力が高まるなど地域活性化の効果を確認することができた。 | H22.10.4 | 41,000 |
| 清新地区防犯活動推進委員会 | 清新地区防犯活動推進事業 | 清新地区の防犯活動に必要な物品を整備し活用することにより、より効果的な防犯活動の推進を図る。 | 清新地区では、地区内の防犯活動を推進するため、清新地区防犯活動推進委員会を組織し、防犯活動物品の整備を行った。防犯活動物品は、地区住民の防犯意識の啓発活動やイベント時における防犯活動等に活用する。(整備内容:バトロールベスト、キャップ、腕章、懐中電灯、サインライト、防寒ブルゾン) | 清新地区の防犯活動に必要な物品を統一的に整備し、地区において防犯活動中であることをアピールすることによりバトロール活動をより効果的に行うことができるようになった。 | 地区の防犯活動の統一的な体裁が整うことで防犯活動をPRする機会が増加し、地区の防犯力の向上に貢献できた。 | H22.11.1 | 413,000 |

